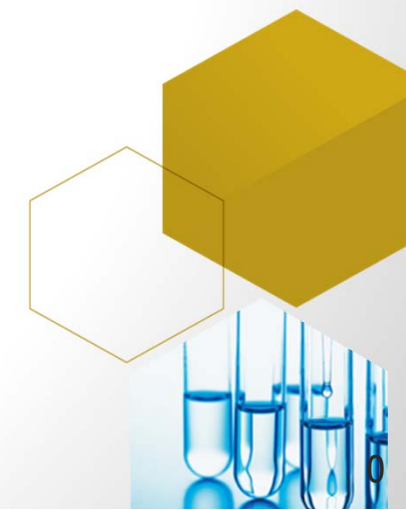
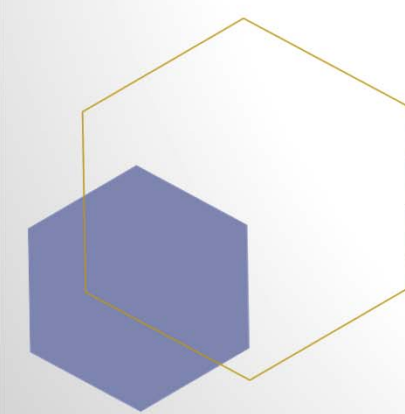



# 2017年3月期 決算説明資料

---



 日本高純度化学株式会社

証券コード: 4973

2017年4月25日



# 決算の概況

# 2017年3月期 通期の概況

## 電子部品業界の状況

- スマートフォンが依然市場を牽引しているが、前年度から続くハイエンドスマートフォンの生産立ち上がり遅れの影響を受けて、上期の需要は低迷した。
- 下期における需要はその反動を受けて回復し、ハイエンドスマートフォンならびに中国系スマートフォンの需要が好調に推移した。

## 当社決算の概況

- スマートフォン向けマイクロコネクタ用硬質金めっき薬品は、技術的な優位性があるものの、上期は需要の減少を受けて販売は低迷した。また、その他リードフレーム用パラジウムめっき薬品、メモリー基板向けワイヤーボンディング用純金めっき薬品やフレキシブル基板用金めっき薬品についても販売が減少した。
- 下期においては需要の回復により、スマートフォン向けマイクロコネクタ用硬質金めっき薬品、フレキシブル基板用金めっき薬品は販売が伸びたものの、上期の減少分を補うには至らなかった。

# 2017年3月期 決算概況

(単位:百万円、%)

	2016/ 3期	2017/3期						2017/3期予想※	
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期合計	増減率		達成率
売上高	8,429	1,783	2,072	2,054	2,320	8,229	△2.4	8,200	0.4
営業利益	957	158	210	257	273	900	△6.0	860	4.7
経常利益	1,047	202	223	303	273	1,002	△4.3	960	4.7
純利益	708	146	164	214	190	716	1.2	690	3.9
1株当たり 当期純利益	121.31円	25.24円	28.64円	37.46円	33.20円	124.44円	2.6	120.62円	3.2

※ 2016年10月14日付で業績予想を修正しております。

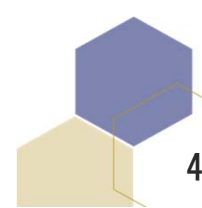
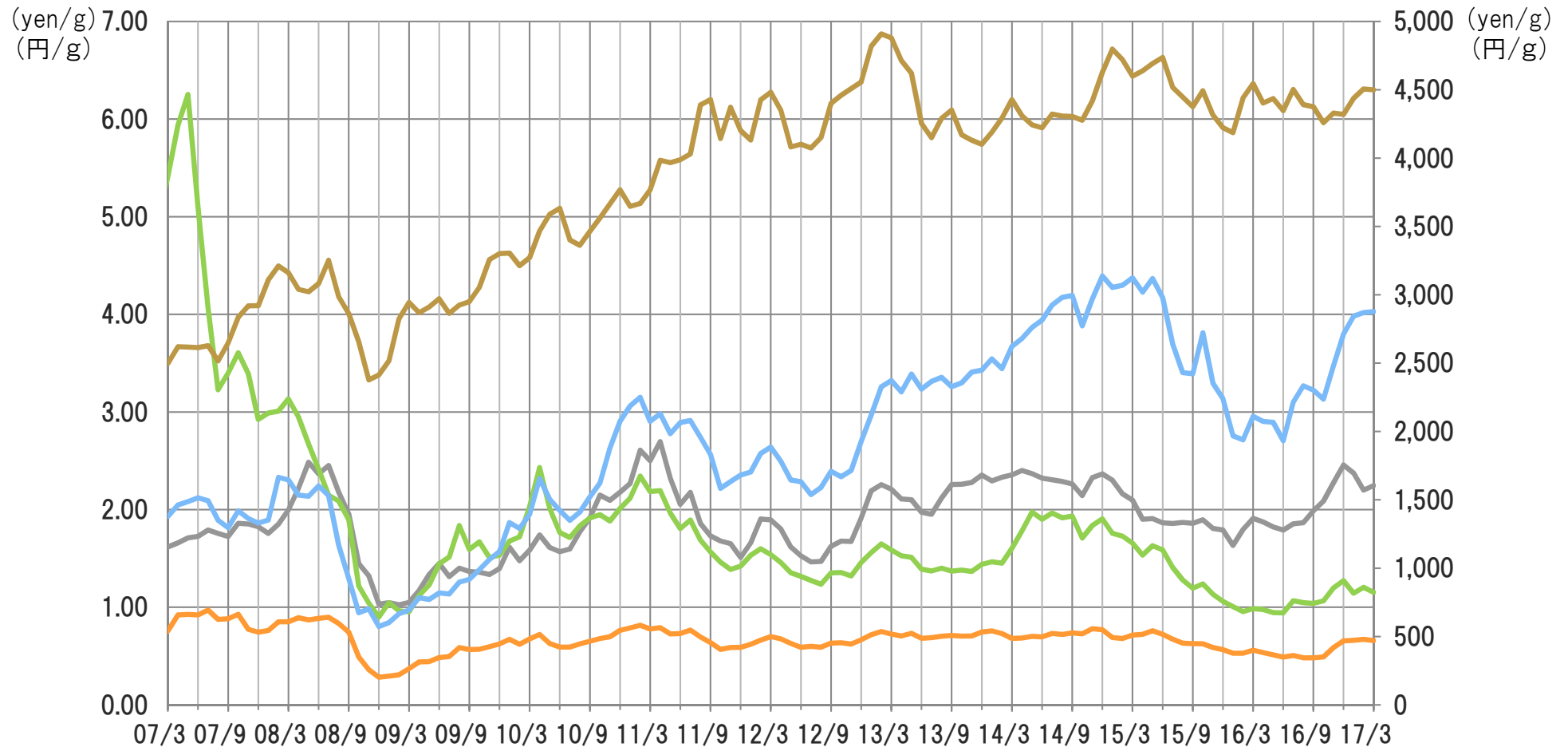
# メタル相場推移 Historical metal prices

Prices of copper, tin and nickel  
銅、スズ、ニッケル価格

Prices of gold and palladium  
金、パラジウム価格

■ Copper 銅  
■ Tin スズ  
■ Nickel ニッケル

■ Gold 金  
■ Palladium パラジウム

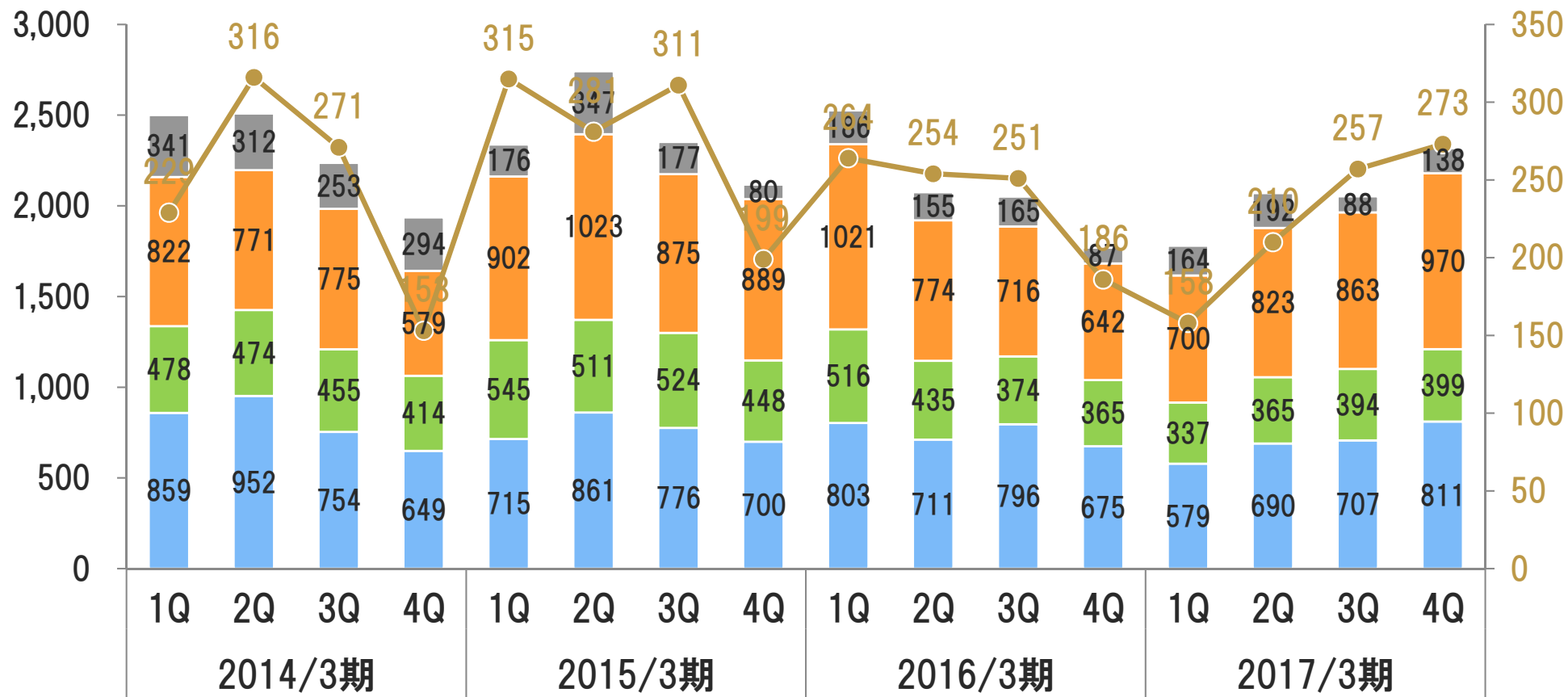


# 売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

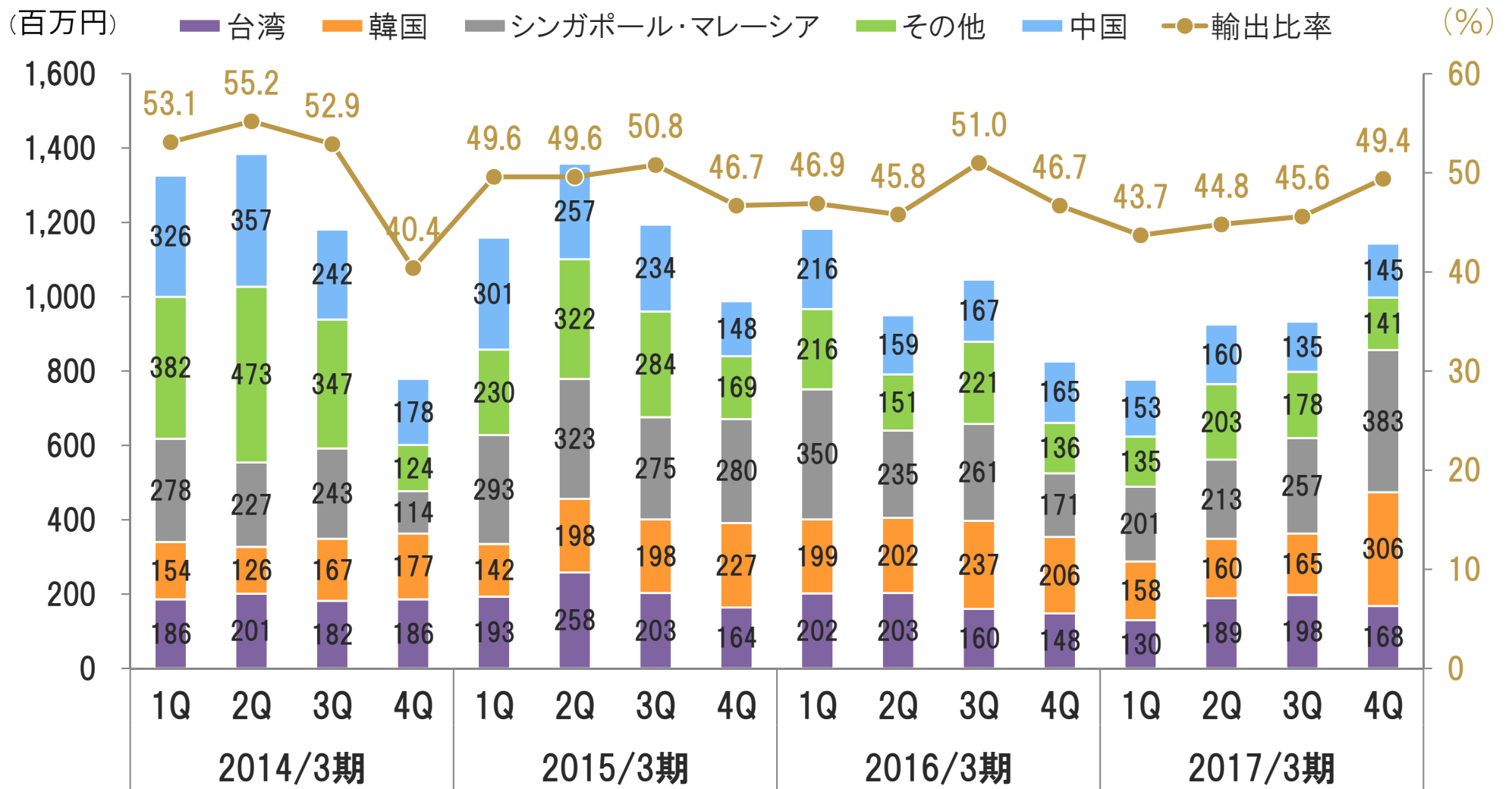
(百万円)

- プリント基板・半導体搭載基板用
- コネクタ・マイクロスイッチ用
- リードフレーム用
- その他
- 営業利益

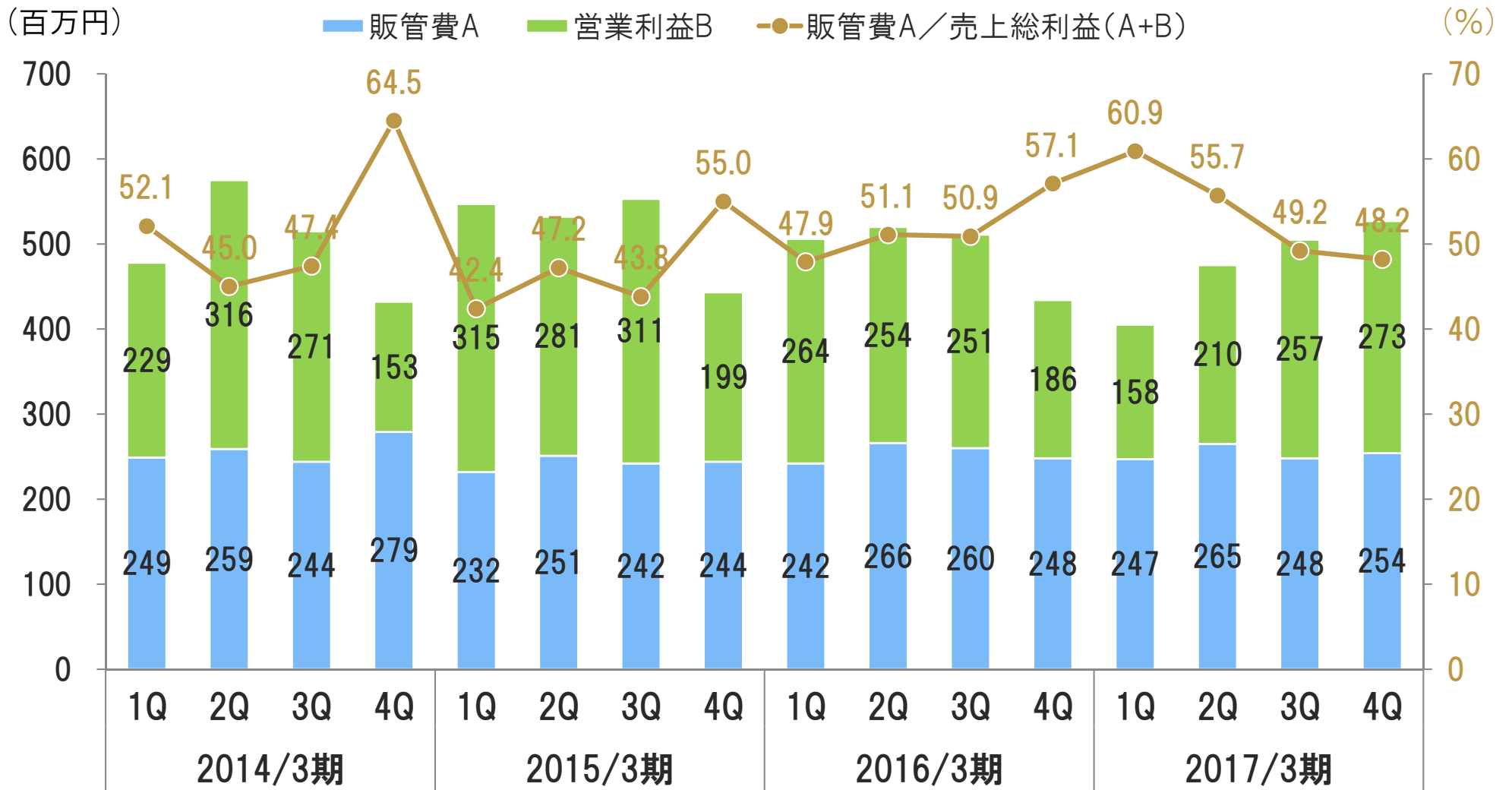
(百万円)



# 地域別売上高の推移(四半期ベース)

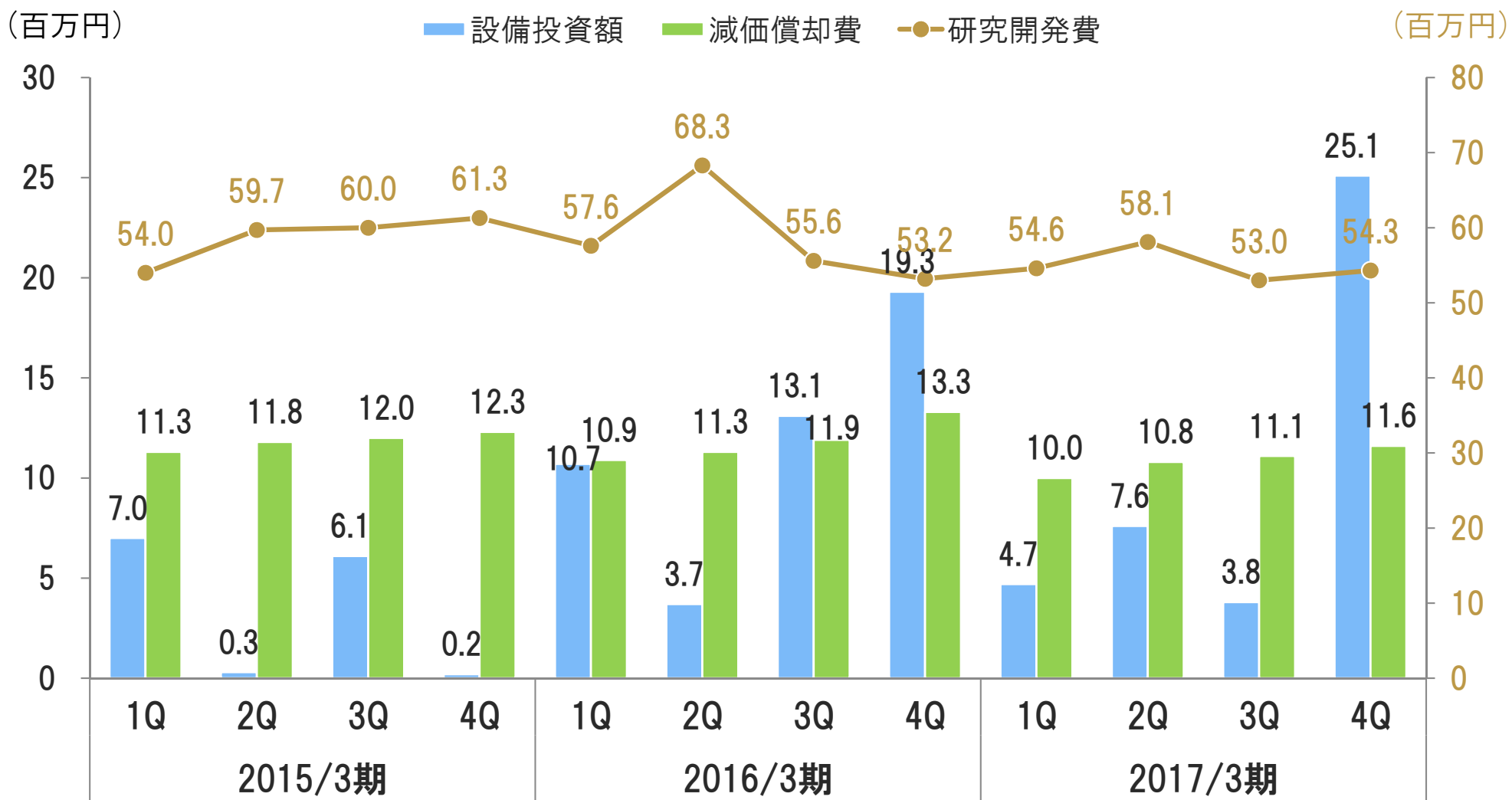


# 販売管理費および営業利益の推移





# 設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移



# 株主還元について

## 一株当たり配当金

(単位:円、%)

	通期	EPS ※	配当性向
2013/3期	8,000	134.20	59.4
2014/3期	8,000	114.80	69.5
2015/3期	80	131.87	60.7
2016/3期	80	121.31	65.9
2017/3期	80	124.44	64.3

※ 2014年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。  
そのため、当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

# 製品ラインアップ ～電解純金めっき改良品を投入～

	めっき方式	用途	製品ラインアップ
電解	純金		① 粗面上でも均一な膜厚が得られる純金めっき ② 硬度の高い純金めっき
	硬質金 (金合金)		マイクロコネクタ用省金硬質金めっき オーロブライト BAR7
	電解Pd		PPF用薄膜パラジウムめっき パラブライト NANO2
無電解	置換金		低金濃度で使える置換金めっき IM-GOLD FG ダイレクト置換金めっき IM-GOLD PC
	還元金		亜硫酸金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD シアン化金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD CN
	還元Pd		ENEPIG用還元パラジウムめっき ネオパラブライト 2 ダイレクト還元パラジウムめっき ネオパラブライト DP
新分野	新分野		封孔処理剤 合金めっき 還元Snめっき センサー用めっき ビアフィルめっき



# まとめ：開発型企业として新技術の開発を推進

- JPC固有技術であるProtecting Agent(※)の種類を増やし、新しい基板素材との組合せにより“新技術”を提案する。

※特定の金属に選択的に吸着し、電子を供与又は吸引する効果によって、めっき反応や皮膜物性をコントロールする一連の有機化合物

- 合金めっき、封孔処理剤、卑金属めっきなどの“新技術”から次世代の柱となる事業を育成することにより、スマートフォンへの依存度の高い企業体質から脱出する。

# 通期の見通し

(単位:百万円、%)

	2017/3期			2018/3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	8,229	100.0	△2.4	8,470	100.0	2.9
営業利益	900	10.9	△6.0	940	11.1	4.4
経常利益	1,002	12.2	△4.3	1,030	12.2	2.7
当期純利益	716	8.7	1.2	730	8.6	1.9

## トピックス

- **電解純金めっき**・・・利益低迷の主因である純金めっきに膜厚の均一化、硬質純金の2製品を新展開
- **封孔処理剤**・・・顧客ライン評価にて一部進展あり、2018年3月期の利益貢献に期待
- **DIGプロセス(銅上ダイレクト金)**・・・フレキシブル基板市場を中心に拡販するも商業ベースには至らず  
拡販アプローチを模索中
- **EPIG(銅上ダイレクトパラジウム/金)**・・・顧客ライン評価にて進展するも商業ベースには至らず  
巨大なIoT市場に展開できるよう、技術・営業両面でフォロー中



# 注意事項・免責事項

当該資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は、いずれも当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績へ影響を与える要因について、2017年3月時点で入手可能な情報をもとにした予想を前提としています。

これらは、市況、競争状況、新製品およびサービスの導入およびその成否、ならびに情報通信関連産業の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。よって、実際の業績は配布資料および決算説明で用いる予想数値とは、大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。

この資料の著作権は日本高純度化学株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

---

## お問い合わせ先

TEL. 03-3550-1048 FAX. 03-3550-1006

経営企画部

ir@netjpc.com <http://www.netjpc.com>